

# 学校だより

～北斗ブルー～



北海道北斗高等支援学校

第4号

令和5年3月24日発行  
文責 吉野 隆宏

## 何のために学ぶのか、北斗で何を学ぶのか

校長 吉野 隆宏

皆さんは、何のために学校で学んでいるのでしょうか？皆さんは、どうして北斗高等支援学校を選択し、毎日授業を受けているのでしょうか？3年生の進路報告会で質問しましたが、覚えているのでしょうか？「自分の将来のため」「就職するため」という答えが思い浮かんだ生徒が多かったのではないかと思います。「自分のため」というのは間違いではありません。

学校で学んでいることは、社会で必要とされる知識や技能とつながっていることが多く、社会で生きていく上で大切なことを学びます。皆さんの生活は、社会と切り離すことができないのが現実で、人が生きるということは、家族や周りの人と関わっていくことですし、自分だけがよければというのでは、社会の安定や発展を持続していくことはできません。社会や職場がなければ働くこともできないし、生活していくことも困難です。「社会をよりよく持続可能なものにするためにはどうすればいいか」一人一人が考えていく必要があります。それぞれ考えは、違っているかもしれません。お互いの考えを尊重し共生していくためには、お互いを理解し合い、折り合いをつけ「自分にできることをする」ことが大事です。お互いを認め合うために一人一人が学び、お互いに争うことがない方法を考え、伝え合う必要もあると思います。自分さえよければということではなく、自分の周りの社会をよりよくするために「学ぶ」のです。

学校で学ぶということは、我慢ではありません。苦手なことや興味の持ちにくい内容もあるかもしれませんが、授業や実習を通して、思考、判断、表現する練習をしているのです。

「様々な経験をし、状況判断や自分で考える練習をする」「認知、コミュニケーション」

「社会について知り、どういう見方があるか考える」「違った文化、考え方、多様性を知る」

「自分にできること、できないことを知る」「よりよい自分になるための方法を練習する」

「社会のために自分ができそうなこと、他者から手伝ってもらいたいことを見付ける」

学校では、「新しいこと」「知らないこと」「できていないこと」に挑戦することがあります。同じことをするのなら、イヤイヤではなく、楽しんだ方がいいと思います。「できないは できる手前だ もう少し」と上磯高校の「学びの標語」が廊下に掲示してありました。「できそうだ」「やってみよう」というポジティブな気持ちで楽しんで学んでほしいと思います。楽しむためには、やり方やルール、仲間がいた方がいい。勉強も皆さんの楽しんでいるゲームと一緒に。今を大切に、貴重な高校生活を充実してほしいです。

「北斗市で学び、北斗市から道南地域へ巣立ち、道南で働き、道南で暮らす人間を育てる」という本校の理念を具現化し、皆さんが豊かな生活を送ってほしいと願っています。そのために、たくましく働く力と豊かな人間性を身に付け、困難があっても自分と向き合いチャレンジし続けることで、しなやかな「勁（つよ）い心」を学んでほしいと思います。

最後に、本校の教育に対しまして、保護者の皆様、地域の皆様からの温かい御支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

## WTW(ワークトレーニングウィーク)2期

WTWとは、5日間通して1～6時間目まで働き、長時間の仕事に対応できる体力や集中力などを育成する実習です。

### 環境・流通サポート科1年生

校内の特別教室や格技場、更衣室、トイレなどの清掃を行いました。



### 福祉サービス科1年生

校内カフェのオープンに向けての準備を行い、最終日にお客様をお迎えしてカフェ運営を行いました。



### 2年生

北斗市内のビジネスホテルで客室清掃やベッドメイキング、浴室や食堂、玄関などの共用部分の清掃をさせていただきました。



## 第4回卒業式



3月11日（土）、第4回卒業式を挙行し、4期生の8名がそれぞれの決意を胸に卒業しました。卒業生8名の最後の学習発表の場となりましたが、卒業証書授与、スピーチ、式歌斉唱など感動的で思い出に残る式となりました。4期生の皆さん、これから新たな人生の「ハジマリ」です。それぞれの場所で「自分らしく」頑張ってください。応援しています。



卒業生たちは卒業証書を受け取った後、3年間の思い出や今後の抱負、教員や家族への感謝の気持ちなどの思いを込めた作文をステージ上で読み上げました。



## 祝 検定合格!!

昨年末校内で実施した社会福祉・介護福祉検定3級に福祉サービス科の3年生1名が合格し、3月7日（火）に行った予餞会の中で表彰されました。



また、校内で年に数回日本漢字能力検定を実施しており、今年度は4級に1名、5級に2名が合格しました。

## 離任者挨拶

この紙面をお借りいたしましてお礼とお別れの挨拶とさせていただきます。

校長 吉野 隆宏 （伊達高等養護学校へ）

3年間北斗で充実した学校生活を皆さんと共有することができました。ありがとうございました。私も、強い心を持ち、あきらめずに自分のできることを見付け、力を発揮していきたいと思います。「明朗 勇健 誠実 共和」を大切に、北斗の皆さんの学びの充実と活躍をこれからも応援しています。

教諭 山田 希 （退職）

6年間、素直で優しい生徒たちと一緒に充実した学校生活を送ることができました。学科の枠を超えて合同でのワックスがけを行ったことが、一番思い出に残っています。これからも地域から感謝され、愛される学校であってほしいと思います。6年間ありがとうございました。

教諭 恩田 厚 （退職）

再任用で3年間お世話になりました。卒業後の就職や自立に向けて、ひたむきにがんばる生徒のみなさんの姿に心打たれたことなどがとてもよい思い出として残りました。これからも目標に向かって努力を続けてほしいと願っています。ありがとうございました。

実習助手 喜多 晃子 （新篠津高等養護学校へ）

北斗高等支援学校の開校時に赴任し、6年間お世話になりました。何事にも一生懸命取り組む生徒の皆さんに何度も励まされ、元気をもらい充実した日々を過ごすことができました。たくさんの経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。生徒の皆さん、卒業生の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

### <お知らせ>

今回は4月の発行となります。北海道北斗高等支援学校の学習の様子、学校生活の様子などをお伝えします。どうぞよろしくお願いいたします。

※ホームページもどうぞ御覧ください。

<http://www.hokuto-koushi.hokkaido-c.ed.jp>



北海道北斗高等支援学校に関することや特別支援教育に関するお問い合わせは、下記連絡先までお気軽に御連絡ください。

<住所・連絡先>

北海道北斗高等支援学校（上磯高等学校 併設）  
北斗市中野通3丁目6番1号  
TEL:0138-74-3431  
FAX:0138-74-3435

